



市内郵便局との 包括連携協定について

京免 康彦 議員《自民党・いさま》

令和元年第4回定例会の一般質問で、市内郵便局との包括連携協定、見守り協定など、地域における協力に関する協定、防災協定、大規模災害に備えた協力協定について伺いました。その際、年数が経過している覚書の確認を含めて協議していきたいとのことでしたが、その後の協議の内容について伺います。

市長室長 令和元年第4回

定例会以降、日本郵便株式会社との包括連携協定の提携に向けた研究、協議を継続的に進めており、令和3年3月30日の協定締結に向けて日程調整をしています。協定の内容については、市民サービスの向



保育士宿舍借り上げ 支援事業について

美濃口 集 議員《さま大志会》

保育士宿舍借り上げ支援事業について、令和2年度の国の補助要綱が令和3年1月22日に確定しましたが、要綱の確定までに時間がかり過ぎています。今後は速やかに要綱を確定するように国に要望をしてほしいと考えますが、ご所見を伺います。また、国が月額8万2千円の補助を経過措置として5年間継続することを前提に、保育施設が保育士を雇用したものの、5年が経過しないうちに補助額を引き下げられた場合、どのように対応すべきかわかりません。本市としても本事業を保育士確保のために重要な施策と捉えていることから、令和3年

度に国が経過措置を設けないとした場合は、市の単独補助により施設を救済してほしいと考えますが、ご所見を伺います。

子ども未来部長 国に対し、

補助要綱を改正する場合には速やかに確定すること、また、補助額を月額8万2千円とする経過措置を継続していくことを要望していきたいと考えています。令和3年度に国が経過措置を設けなかった場合に、市で単独補助を行うことについては、保育士宿舍借り上げ支援事業は保育士確保のために重要な施策であると考えていますので、今後検討していきたいと思っています。



核兵器禁止条約について 市長の所見を問う

加藤 学 議員《座間市公明党》

令和3年1月22日に核兵器禁止条約が発効されました。しかし、唯一の被爆国である日本はこの条約に参加せず、過去に国家間のイデオロギーの対立の中で世界の医師たちが善意と使命感により感染症を克服した史実が核戦争防止国際医師会議へと発展し、核兵器禁止条約の発効につながったことを見れば、新型コロナウイルス感染症パンデミックへの対応をその土台にして、連帯して危機を乗り越える意識を時代の潮流とし、核兵器に依存する安全保障から脱却して国やイデオロギーの垣根を乗り越えた行動の連帯が必要で

す。令和3年8月に開催

が見込まれる核兵器不拡散条約（NPT）運用検討会議に日本が参加しますが、核兵器廃絶平和都市を宣言している座間市の市長として、どのようにNPTや核兵器禁止条約を捉えているのか伺います。

市長 NPTや核兵器禁止

条約は核兵器廃絶に向け、大変意味のあるものと認識しています。本市には、人類共通の悲願である核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて、思想、信条、政治的立場等、全てを超越した座間市原水爆禁止協議会があります。協議会や市民の皆様とともに核兵器廃絶に向けてこれからも活動を続けていきます。



郷土愛を育む取組 ふるさと納税について

松橋 淳郎 議員《さま大志会》

本市では現在、ふるさと納税をしていただいた方に返礼品ではなく、お礼として「ごまみず」を差し上げています。県内における他自治体同様、本市が返礼品制度を設けた場合の経費について伺います。

市長 本市で生まれ育った

ものの、現在、市外で暮らしている方が多くいます。そのような方々に本市へふるさと納税をしていただく政策的な戦略が必要ではないかと考えますが、ご所見を伺います。

企画財政部長 これまで本

市では返礼品制度を設ける考えがなかったため、実施した場合の試算は行っていないとふるさと納税制度に対する継続してまいります。



小学校内に移転する児童ホーム 十分な場所の確保を

守谷 浩一 議員《日本共産党》

2021年度にひばりが丘・小松原児童ホームを旭小学校に移転するに当たり、懸念されていることについて、校庭が全面的に使えるのはいつからか、移転先の教室は何部屋分あるのか、荷物置場になるような場所はあるのか、指導員が休憩時に活用できる場所を確保されているのか、ランドセルを置くロッカーを改修するの

今後、ひばりが丘・小松原児童ホームが移転した場合の対策をお示しください。

子ども未来部長 ひばりが

丘・小松原児童ホームの旭小学校内への移転について、移転先の教室は一部屋分を予定しています。また、校庭の使用、荷物置場の設置、休憩場所の確保、ロッカーの改修については、児童ホームの運営に必要な準備ができるよう、小学校と調整します。小学校を移転先とする児童ホームのスペースの問題については、児童ホームの外に物置等を設置できるよう、移転先となる小学校と調整して対策を図ります。



信号機が設置されていない横断歩道に おける歩行者の安全対策について

高波 貴志 議員《自民党・いさま》

横断歩道上での事故をなくすためには、第一に車の運転者の交通ルールの遵守が絶対であり、意識的な啓発活動をはじめ、様々な対策が行われてきました。最近では歩行者が横断する意思を運転者に伝えるシステムが開発され、歩行者がボタンを押すことでLEDライトが点滅し、運転者に対し注意喚起する「びかっ」とわたるくん」という製品があります。道路管理者や民間企業でも設置することが可能ですが、本市での導入について見解を伺います。

都市部長 横断歩道付近の安全対策は、道路管理者として、速度に関する注意喚起の

路面標示等を行っています。これらは運転者への横断歩道の存在や車両速度についての意識づけに効果があるものと考えていますが、信号機のない横断歩道の安全性の確保は大変難しいものと認識しています。その中で、議員から提案された先進的なシステムの設置については、横断歩行者への安全対策として有効な手段の一つと考えています。今後の導入については、交通管理者である座間警察署と協議を行ってまいります。また、あわせて導入自治体での実績や費用対効果等にも考慮し、企業との連携についても研究してまいります。

046(252)8872

請願・陳情の
提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。提出された請願・陳情は3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。

第2回（6月）定例会で審査をする請願・陳情は、令和3年5月19日（水）までに議会事務局へご提出ください。

なお、定例会ごとの締切日は、議会事務局にお問い合わせてください。

次の陳情は、3月定例会の都市環境常任委員会で審査が行われましたが、閉会中の継続審査に決まりました。

陳情第9号 市道1号線歩道の拡幅工事と歩道の切下げの改善を求める陳情

